

## 平成 29 年度 地区対抗 45 人リレー

### 1. 実施目的

防犯、防災、子ども・障がい者・高齢者の見守りなど、地域住民の結びつきが強く求められる中で、地域の絆を強める一つのイベントとして、地区対抗リレーを開催する。また、広く世代間の交流を育むとともに、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けた気運の醸成を図る。

2. 実施日時 11月3日（金・祝）午前9時30分～午後0時30分  
3. 会場 狛江市民グラウンド（住所：狛江市和泉本町2-15-2）  
4. 主催 地区対抗リレー実行委員会  
5. 共催 狛江市教育委員会・狛江市  
6. 協力機関 狛江市体育協会・小菅村  
7. 特別協賛 大塚製薬株式会社

### 8. 実施内容

- 字 11 地区による対抗リレー
- 45 人の選手がグラウンド半周（約 75m）を走り、バトンでリレーをする。
- レース優勝チーム及び応援が一番素晴らしかった地区を表彰する。
- 市役所職員チームがオープン参加する。
- 選手（市役所職員チームを除く）
  - ・男性・女性どちらも 20 人以上いること
  - ・中学生以下を 10 人以上入れること
  - ・50・60・70 歳代の各年代層を入れること
  - ・アンカーはチームの最年長者とすること
- 新たな取り組みとして、狛江市地域連携職員制度（別紙参照）に基づき、入庁 2～4 年目の職員 20 人が各地区に分かれ、各地区の方と一緒にリレーの準備や走者等として参加する。

### 9. レース方法

- 予選 4 レース ※市役所職員チームは順位に含めない
- 決勝 予選の 1 位地区

### 10. 問い合わせ

狛江市教育委員会教育部社会教育課長 安江 電話 03-3430-1336（直通）

# 狛江市地域連携職員制度について

平成 29 年度より、新しく「狛江市地域連携職員制度」を以下のとおり実施いたします。

## 1. 実施の目的

地域住民と市職員が本来の職務とは別の形で接することで、お互いに顔と顔が見える関係づくりを進め、地域住民が市政にかかわるきっかけにするとともに、より市民に寄り添う市政の実現につなげる。

## 2. 対象職員

入庁 2～4 年目の職員 20 名（任期 2 年）

- ・協力的な市民と顔を合わせて対話することで、長期にわたって良好な関係を築くことが期待できる。
- ・自治体職員という仕事に対して比較的モチベーションが高い新任職員の時期に、地域住民と顔見知りになって繋がることで、円滑な業務の遂行に生かしてもらおう。

## 3. 平成 29 年度の実施内容

地区対抗 45 人リレーを支援することを目的として、各地区に地域連携職員を分ける。職員は、地区対抗 45 人リレーの準備や走者として各地区に活用していただき、リレー参加者の方々と積極的に交流を図り、各地域を知ることで今後の職務へ活かしていく。

## 4. 問い合わせ

狛江市企画財政部政策室長 田部井 電話 03-3430-1164（直通）